

マク・クイックシェルター

型式

MQ-342-A

MQ-442-A

MQ-452-A

MQ-462-A

取扱説明書

- ◆マク・クイックシェルターを正しく安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟読し、内容を十分理解した上でお使い下さい。
また、取扱説明書はいつも手元に置いてお使い下さい。
- ◆この取扱説明書には、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取り扱いをすると生じる事が想定される内容を、下記2種類の【マーク】に区分しております。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守り下さい。

【マークの意味】



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

太陽工業株式会社

マク・クイックシェルター 取扱説明書

目 次

事前確認・注意事項	…<1>～<2>
全体図	…<3>
部品一覧	…<4>
立上手順	…<5>～<12>
収納手順	…<13>～<19>
保守・点検・保管・連絡先	…<20>～<22>

マク・クイックシェルターを正しく安全にお使い頂くために以下の項目をお守りください。

【注】本文中、マク・クイックシェルター本体を、その形態から“テント”と表現しています。



注意

【事前確認】

- 1) 設置場所の広さは、立上時・収納時のテントの動きを配慮し、安全のためテント周囲1m ずつ以上の広さを確保してください。
テントは立上時・収納時に前後左右に揺れ動くので、空間に余裕がないと、テントまたは周囲に損害を与える恐れがあります。
- 2) 設置場所は平らな場所で、小石などの突起物がある場合は取り除いてください。
突起物があると、床シートが破れ土砂や雨水等が浸入する恐れがあります。



警告

【使用時の注意事項】

- 1) テントは仮設用で、恒久的な設置には適しません。
- 2) 立上時は突風に注意し、風下側から送風してください。
風上側から送風すると、突風時にテントが動き、充排気バルブに接続しているホースコネクターが引っ張られて外れ、テントが途中で倒れ破損する恐れがあります。
- 3) 送風時に電動・手動ポンプが、小石や雨水などの水分を吸い込まないようにしてください。
小石や水分を吸い込むと、電動・手動ポンプの故障原因になるとともに、水分によりエアビーム内にカビ等が発生し、膜材が早期に劣化する恐れがあります。
- 4) 使用時は土のう袋やペグにてテントを固定してください。
テントを固定しないで使用すると、風圧によりテントが倒壊する恐れがあります。
- 5) 気温差によりエアビームの内圧が大きく変化することがありますので一日一回以上、全てのエアビームの内圧を測定し調整してください。
【注】内圧の標準値は0.01～0.012Mpaです。
内圧が過剰の場合は充排気バルブのボタンを軽く押して減圧してください。
内圧が不足の場合は手動ポンプにて加圧してください。
内圧が過剰だと、エアビームに過度の張力がかかり膜材を破損させる恐れがあります。
内圧が不足すると、エアビームの強度が不足し構造的に不安定になります。
- 6) 安全確保のため、風速10m/secを超える場合は、ただちに使用を中止してください。
積雪に関しては、積もる前に使用を中止してください。
風速10m/secを超えて使用すると、風圧によりテントが倒壊する恐れがあります。
テントに雪が溜まり始めると取り除くことができませんので、積雪によりテントが倒壊する恐れがあります。
- 7) テント内及びテント付近での火気の使用は、危険ですので禁止してください。
テントに火が移り火災になる危険性があります。
- 8) テントを叩いたり突付いたり、蹴ったり飛び乗ったりする行為は、危険ですので禁止してください。
テントを破損させる恐れがあるとともに、その行為を行った人や周りの人が負傷する危険性があります。

⚠ 警告 【使用時の注意事項】

- 9) 床膜の取外しは厳禁です！！

床膜を取外した状態で立上げを行うと、エアビームが破損する恐れがあります。

- 10) テント及び下記の図 1 ～ 3 に示す部品（マジックテープ、ベルト、バックル、ファスナー）は、丁寧に扱い必要以上の力で扱わないでください。

乱暴に扱うと破損の恐れがあります。

また鋭利な物との接触による破損が生じないように注意してください。

※下図 1 ～ 3 の写真は、使用箇所の一部であり、写真以外の場所にも使用されております。



図 1 マジックテープ

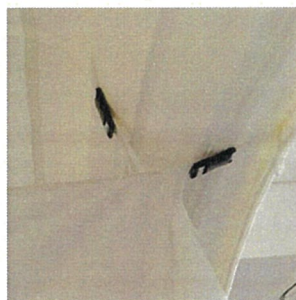


図 2 ベルト&バックル

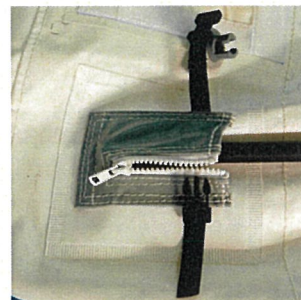


図 3 ベルト&バックル
&ファスナー

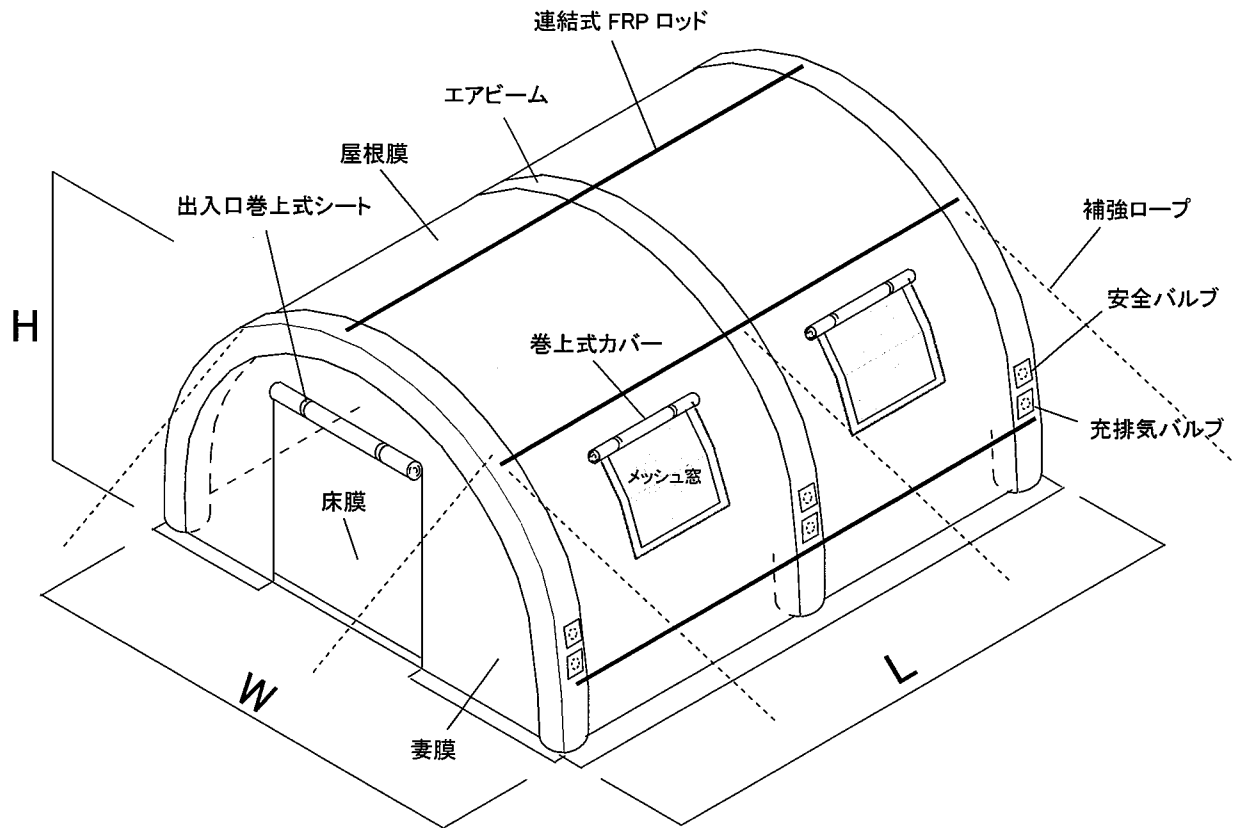
- 11) テントを広げたり、たたむときには充排気バルブを踏みつけないようにしてください。

チューブが破損する原因になります。

- 12) 付属品はオリジナルのものを必ず使用してください。

他社製品の使用は破損の原因になります。

全体図



型式	サイズ W×L×H
MQ-342-A	3.0m × 4.0m × 2.0m
MQ-442-A	4.0m × 4.0m × 2.5m
MQ-452-A	4.0m × 5.0m × 2.5m
MQ-462-A	4.0m × 6.0m × 2.5m

部品一覧



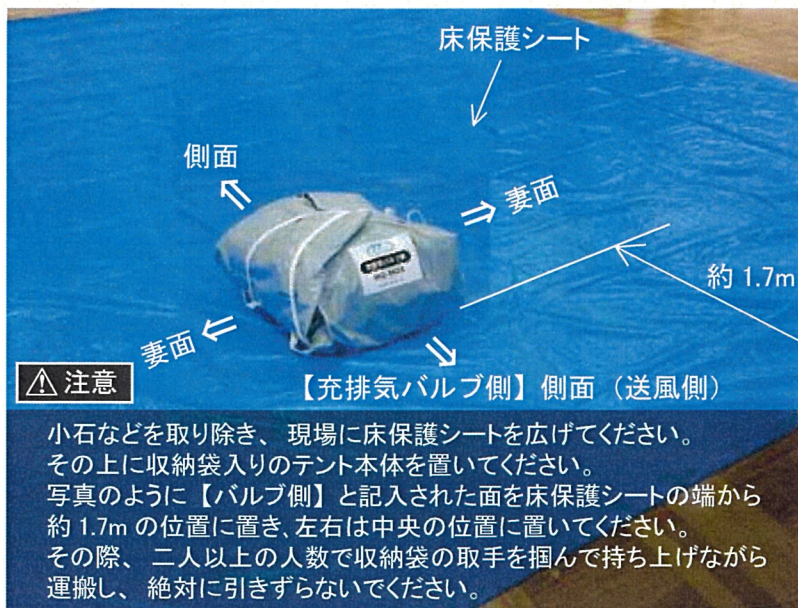
No.	部品名	個数		No.	部品名	個数	
A	本体テント	1	式	C	標準付属品	1	式
	(収納袋入り)			①	床保護シート	1	枚
B	連結式FRPロッド	5	組	②	圧力計(ケース入り)	1	台
	(収納袋入り)			③	手動ポンプ	1	台
				④	補強ロープ	10	本
D	送風ユニット	1	式	⑤	ペグ(スチール)	10	本
	① 電動ポンプ (AC100V)	1	台	⑥	ハンマー	1	丁
	② 分岐ホース(3分岐用)	1	式	⑦	作業用手袋	6	組
	(収納ケース入り)			⑧	補修用粘着キット	3	枚
				⑨	土のう袋	20	枚
				⑩	取扱説明書	1	冊
					(収納ケース入り)		

←注)

注) MQ-462-A のみ “土のう袋” 30 枚

立上手順

(1)



(2)



(3)



立上手順

(4)



(5)



(6)

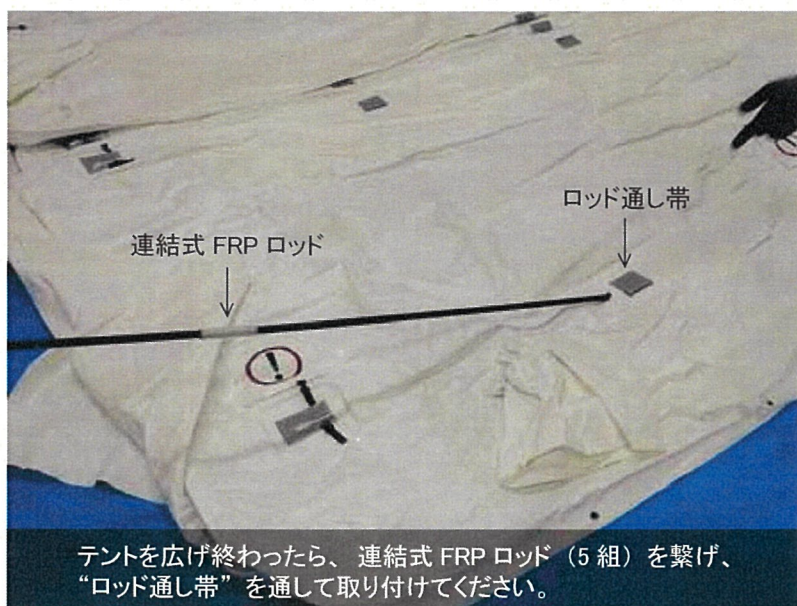


立上手順

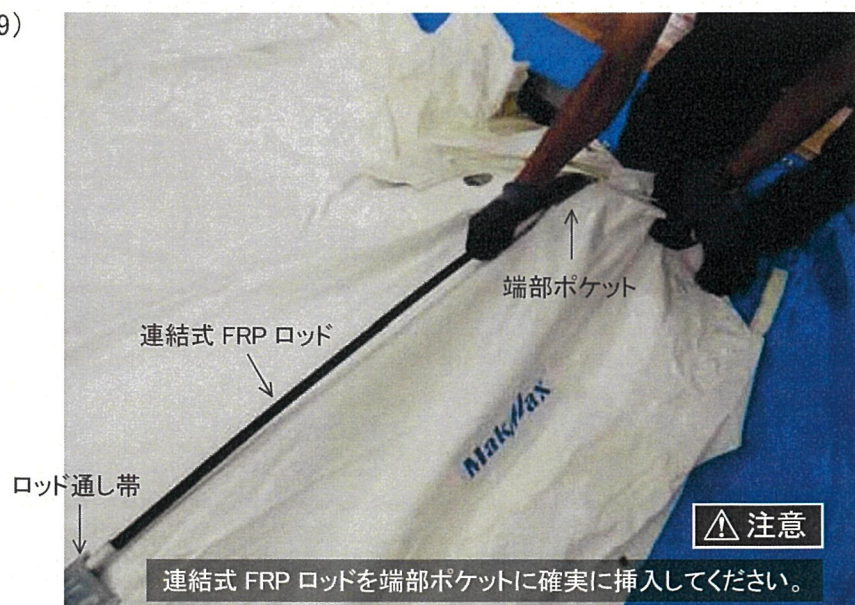
(7)



(8)

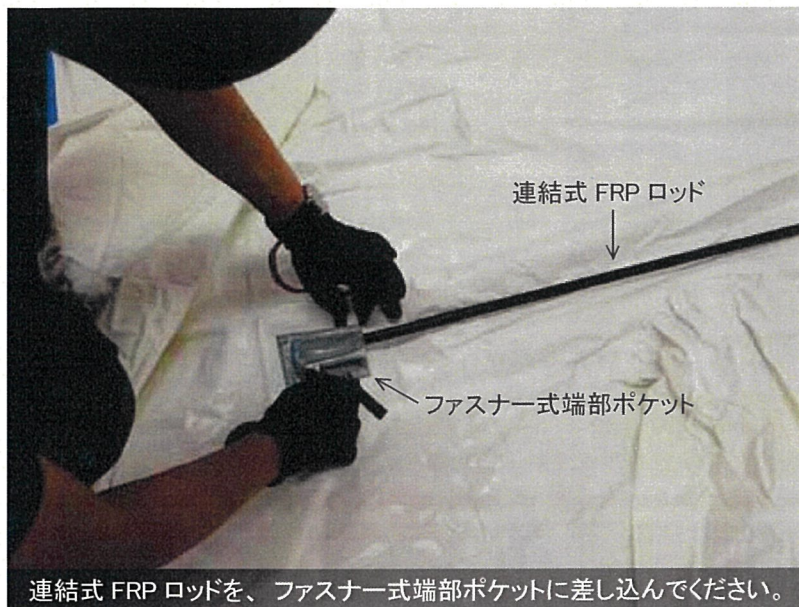


(9)



立上手順

(10)



(11)



(12)

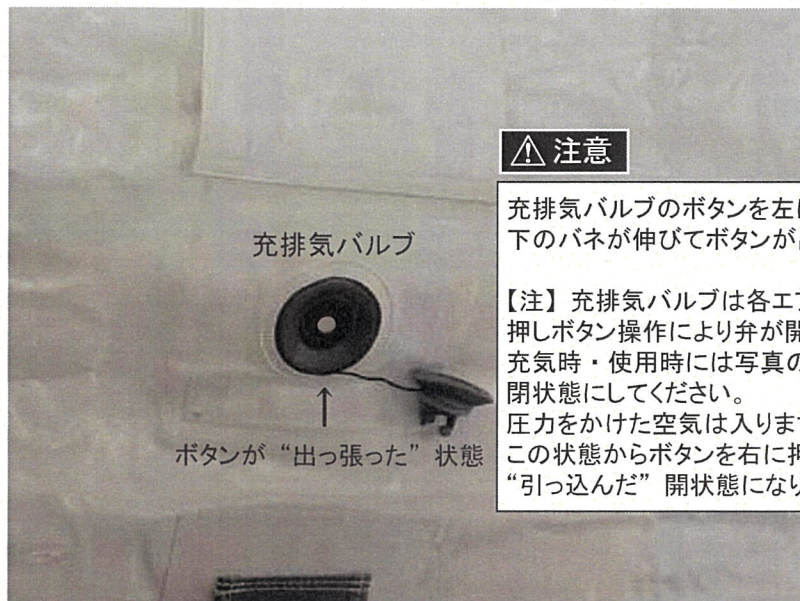


立上手順

(13)

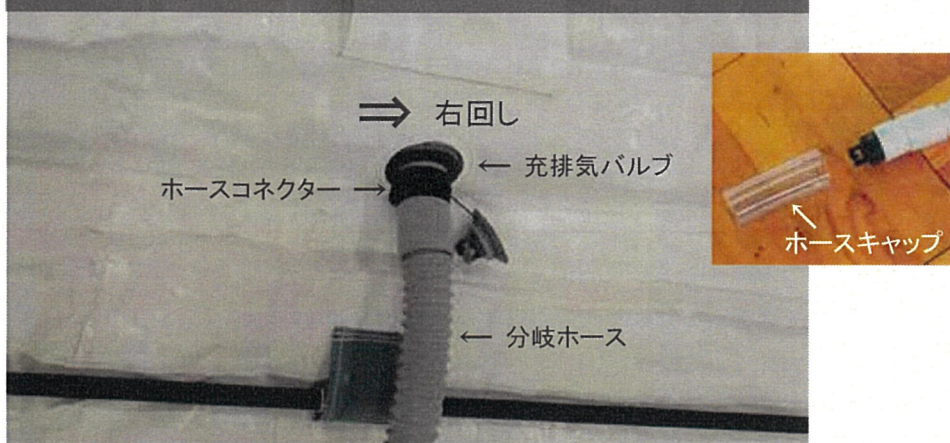


(14)



(15)

分岐ホース先のホースキャップを外し、ホースコネクターを充排気バルブに右回しに確実に取り付けてください。



⚠ 注意

作業中、充排気バルブを踏まないようにしてください。
充排気バルブを踏みつくと、バルブが破損し、空気漏れの原因になります。

立上手順

(16)



全ての充排気バルブ（3ヶ所）にホースコネクターを右回しに確実に取り付けてください。

(17)



電動ポンプ＜吐出側＞に分岐ホース端部を接続し、ホースバンドを締めてください。

(18)



⚠ 警告

電動ポンプ安全使用のために以下の項目を厳守してください。

- 電動ポンプを絶対に分解しないでください。
- 電動ポンプを雨水に濡れさせないでください。
- 電動ポンプ吸気口から水分を吸い込ませないでください。
- 電動ポンプを引火性ガス等の引火物の近くで使用しないでください。
- モーター部損傷防止のため、テント立上り後、1分以内にスイッチを切ってください。

電動ポンプのプラグを電源（100V）に接続し、電動ポンプのスイッチを入れてください。

立上手順

(19)



(20)



送風開始後、約1分 (MQ-342-A)、約1分半 (MQ-442-A)、
約2～3分 (MQ-452-A、MQ-462-A) でテントが立ち上がります。

(21)



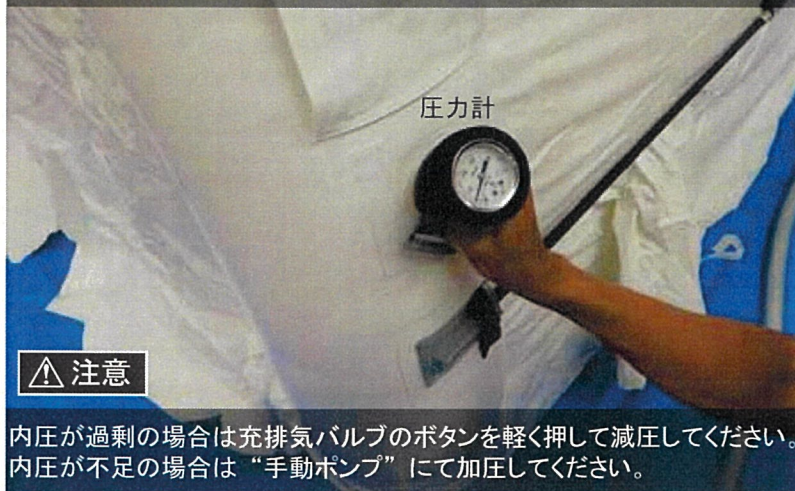
⚠ 注意

テントが立ち上がった後、20～30秒の間に、全てのホースコネクターを左回しに取り外し、電動ポンプのスイッチを切ってください。その際、ホースコネクターやホースを踏まないように注意してください。

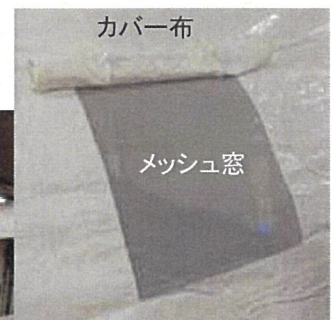
立上手順

(22)

圧力計を充排気バルブに押し当て、各エアビームの内圧を測定してください。
標準内は 0.01 ～ 0.012Mpa です。



(23)



メッシュ窓のカバー布を巻き上げると、通気性が高まります。

⚠ 警告

使用時は、土のう袋や補強ロープにてテントを固定してください！！

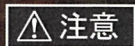
収納手順



警告

床膜の取外しは厳禁です！！

(1)



注意

排気を開始する前に、テント内部の照明器具など全て取り外してください。
排気し易くするために、出入口巻上式ファスナーを開けておいてください。

(2)



警告

テントの中に人が居ないことを確認してから、全ての充排気バルブの
キャップを外し、充排気バルブのボタンを右に押し回し排気してください。

(3)



テントが真下に落ちるようにサポートしてください。

収納手順

(4)



(5)



(6)

全ての充排気バルブ（3 箇所）に、ホースコネクターを右回しに取り付けてください。



電動ポンプ＜吸込側＞に分岐ホース端部を接続してください。
電動ポンプのプラグを電源（AC100V）に接続し、スイッチを入れ、
残った空気を抜き取ってください。
注）排気口から空気が出なくなったら直ちにスイッチを切ってください。



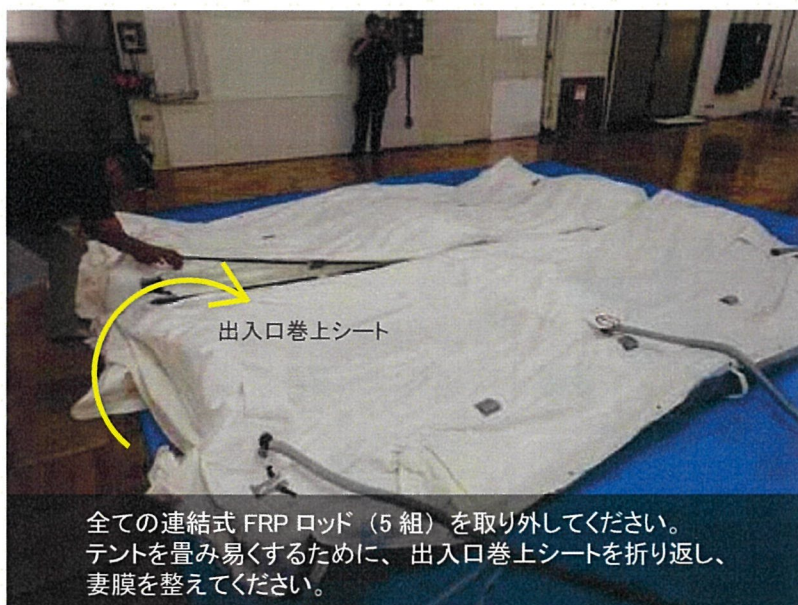
電動ポンプ

収納手順

(7)



(8)



(9)



収納手順

(10)



(11)



(12)



収納手順

(13)



充排気バルブ側のテントを折り返してください。

(14)



充排気バルブ側のテントを反対側のテントの上に重ねてください。

(15)



重ねたテントを端から折り畳んでください。最初の折り幅は約 50 cm です。

収納手順

(16)



(17)



(18)



収納手順

(19)



(20)



(21)



マク・クイックシェルターを正しく安全にお使い頂くために以下の項目をお守りください。

⚠ 注意 【保守・点検・保管】

- 1) 一年に一度以上は使用試験を行い【点検表】（＜22＞ページ）により各部の点検を行ってください。
- 2) テントその他の部品は必ず収納袋、収納ボックスに収納し、直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。
- 3) テントは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。
- 4) テントの汚れを拭き取る場合は、乾いた布か水拭きで行ってください。
水拭き後は完全に乾燥させてから収納してください。
水拭きで落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してください。
有機溶剤は生地を著しく痛めますので、絶対使用しないでください。
- 5) テントが雨水等で濡れた場合は、十分乾燥させてから収納してください。
- 6) お客様にて修理可能なテントの破れ（数 cm 以下）の場合は、付属の“補修用粘着テープ”を使って補修してください。
但し、エアービーム部の破損に関しては、空気漏れや破裂の原因になりますので、弊社まで連絡してください。
- 7) お客様にて修理不可能な場合は、弊社まで連絡してください。

【連絡先】

太陽工業株式会社
マク・クイックシェルター担当

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-33-16
TEL 03-3714-3344
FAX 03-3714-3441

マク・クイックシェルターの補修方法について

1 お客様にて修理可能なテントの破れ（数 cm 以下）の場合は、付属の“補修用粘着テープ”を使って補修してください。
但し、エアビーム部の破損に関しては、空気漏れや破裂の原因になりますので、弊社（営業担当者）まで連絡してください。

<補修用具>

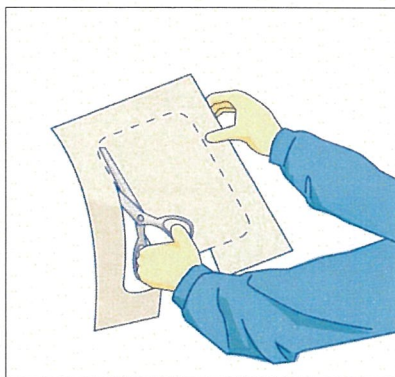
- ①補修用粘着テープ
- ②ハサミ
- ③タオルなど（拭き取り用の布）

<補修方法>

※必ずテントの外側から行ってください。

- 1) 表面の汚れをタオルなどで十分に落としてください。
- 2) 補修用粘着テープを、下の絵(A)のように破損部より大きめに切り、形状は角のないものにしてください。
- 3) カットしたものを、下の絵(B)のように貼り付けてください。

(A) 補修用粘着テープをカット



(B) 補修用粘着テープを貼り付け

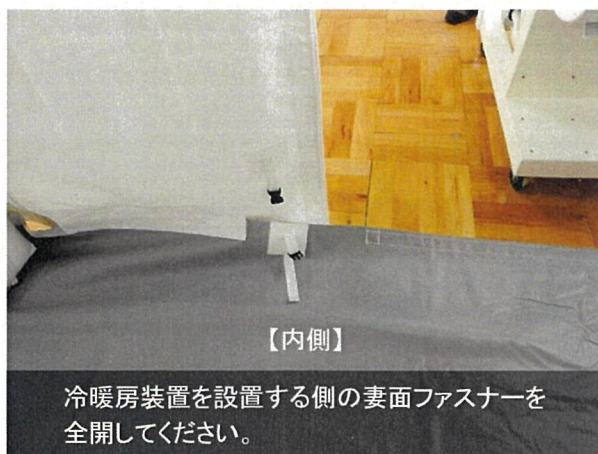


【点検表】

		ご担当者	点検日
	点検項目	点検結果	処置
①	屋根膜に破損やひどい汚れはないか		
②	妻膜に破損やひどい汚れはないか		
③	床膜に破損やひどい汚れはないか		
④	その他膜面に破損やひどい汚れはないか		
⑤	FRP ロッド受けに破損はないか		
⑥	FRP ロッドに破損はないか		
⑦	充排気バルブに異常はないか		
⑧	電動ポンプに異常はないか		
⑨	分岐ホースに異常はないか		
⑩	手動ポンプに異常はないか		
⑪	圧力計に異常はないか		
⑫	補強ロープ、ペグに破損はないか		
⑬	その他部品に異常はないか		

冷暖房装置(MQ-S36VTES-W)取付け手順 (1)

(1)



冷暖房装置(MQ-S36VTES-W)



注意

(2)

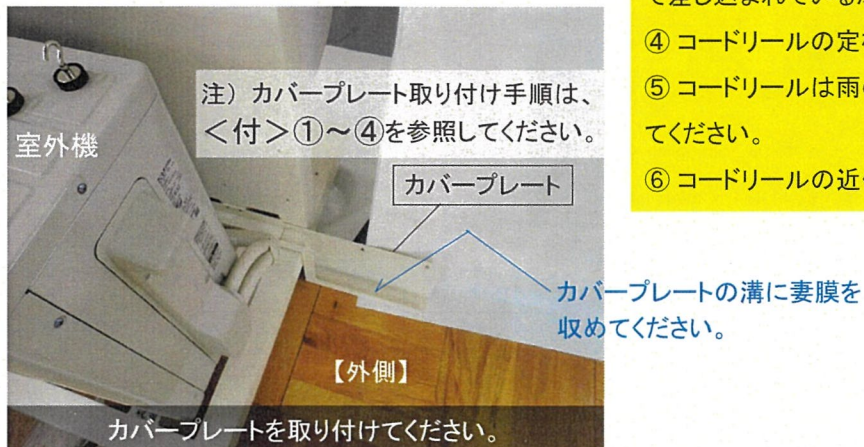


■冷暖房装置の電源は、AC100Vコンセントから直接取るようにお願いします。

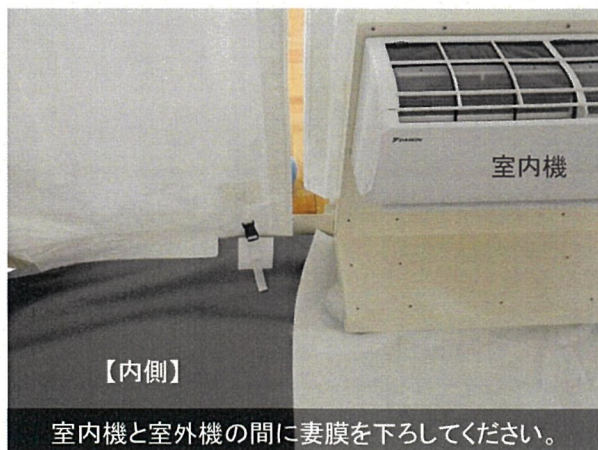
■コードリール市販品を使用する場合は、必ず以下の項目を守ってください。

- ① コードリールの電源コードを巻いたまま使用すると火災の恐れがありますので、コードリールから電源コードを完全に伸ばした状態(電線を全て出した状態)で使用してください。
- ② 延長コードを使用する場合は、電線は細いものでなく太いものを使用してください。
- ③ コンセント接続部に電源プラグがきちんと根元まで密着して差し込まれているかを確認してください。
- ④ コードリールの定格を超えた使用はしないでください。
- ⑤ コードリールは雨の当たらない屋根のあるところに設置してください。
- ⑥ コードリールの近くに発火しやすいものを置かないでください。

(3)

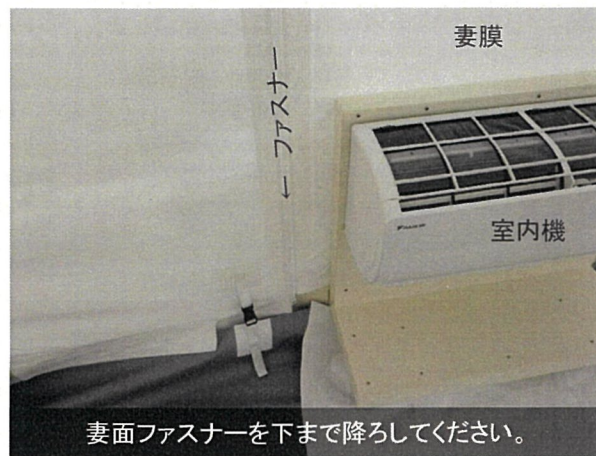


(4)



冷暖房装置(MQ-S36VTES-W)取付け手順 (2)

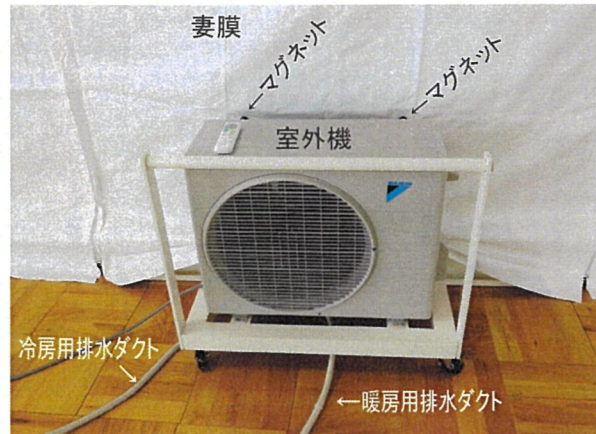
(5)



(6)

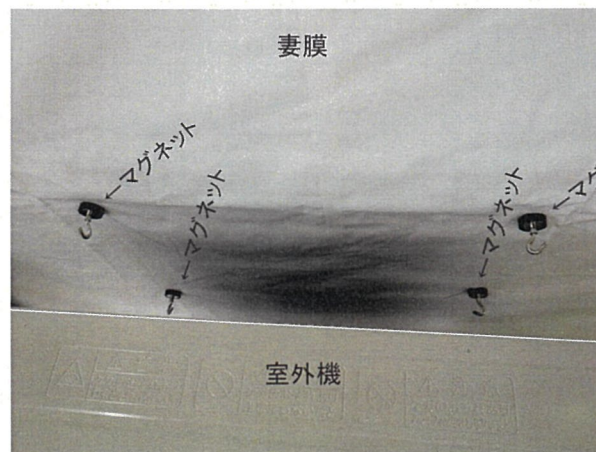


(7)



排水ダクトをテントの外側に向けてください。

(8)



冷暖房装置運転に際しては、取扱説明書をよく読んでご使用ください。

冷暖房装置(MQ-S36VTES-W)取付け手順 <付>

<カバープレート取り付け手順>

①



②



③

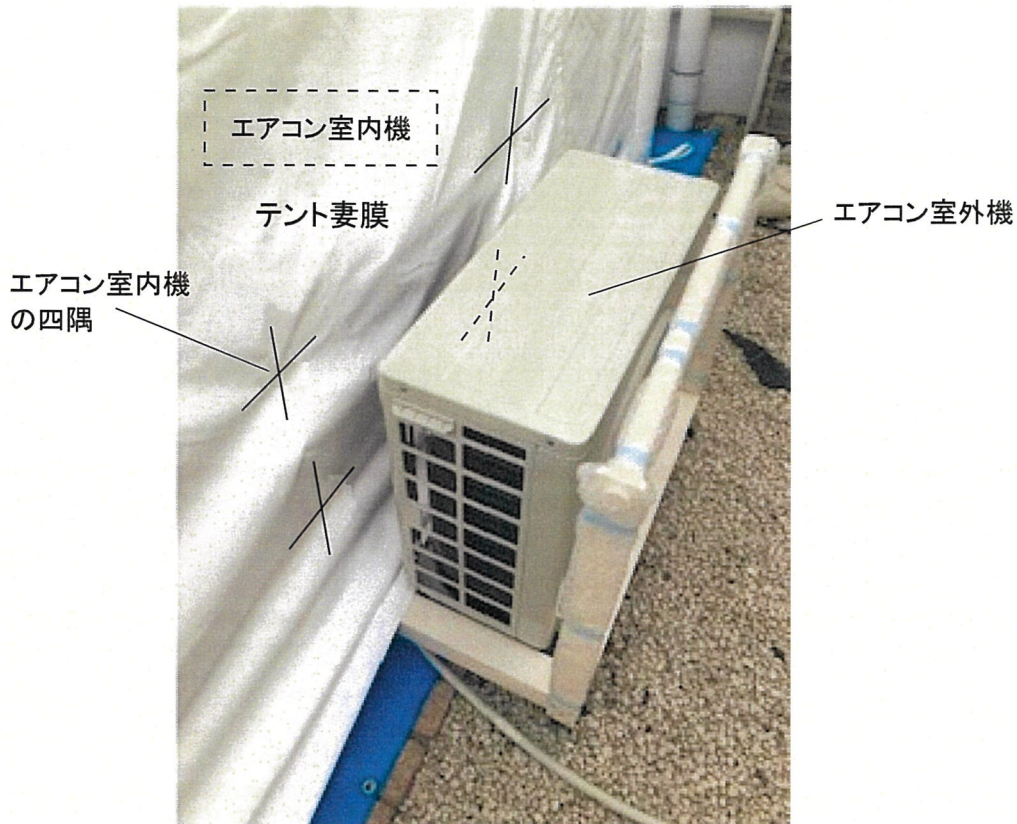


④



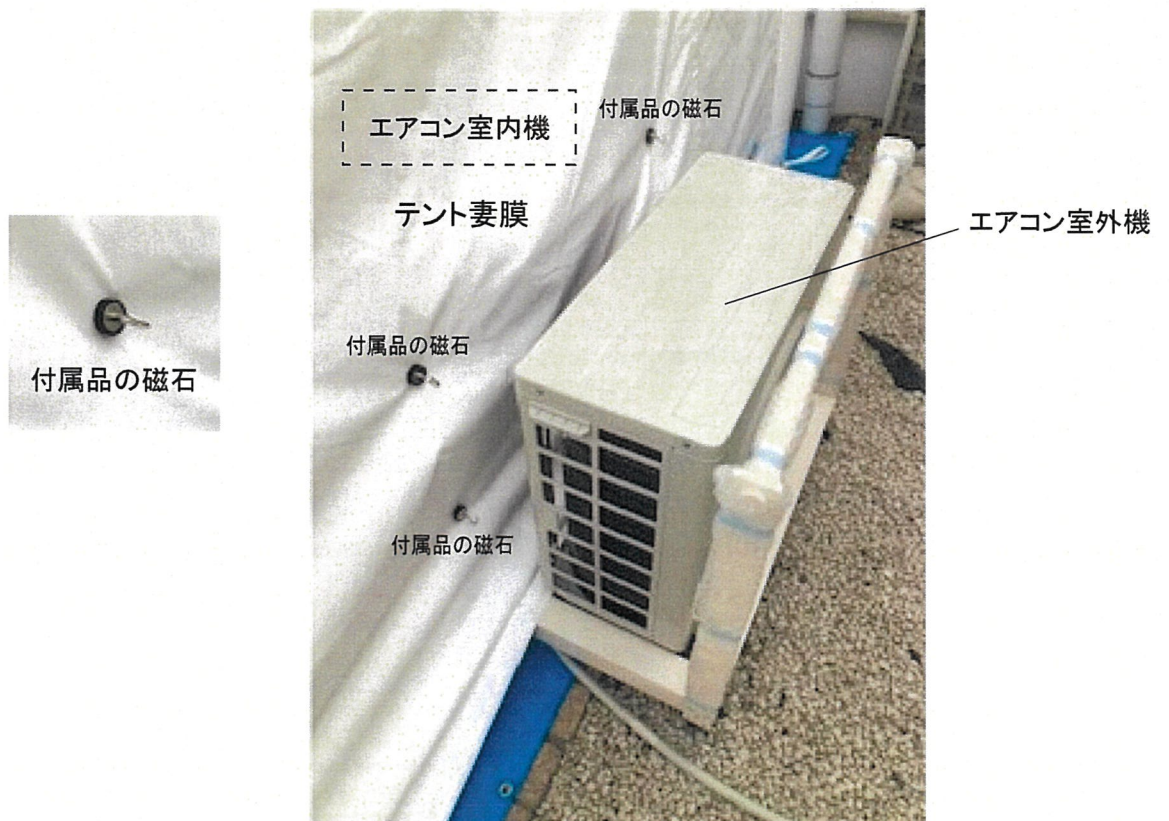
注）使用時はカバープレートに足を引っ掛けない様ご注意ください。

エアコン設置注意事項について



⚠ 注意

テント妻膜を下の写真のように、エアコン室内機の四隅に付属品の磁石（４個）を使用して、必ず固定してください。
テント妻膜を固定しないでエアコンを使用すると、エアコン室外機に妻膜が吸い寄せられ室外機の故障原因になります。



注意！！

予期せぬ故障・破損が発生する可能性がありますので以下のことに注意してください。



立入禁止



■ 設置中、作業員（4～5名）以外はテントに上がらない！！



土足禁止



■ 靴を履いたまま、テントに上がらない！！



立入禁止



■ ロッドを端部ポケットに取付ける時はテントの上に立たない！！
無理な力が加わり思わぬ破損につながる可能性があります。



踏付け禁止



■ テントの青色部分（中に内袋が入っている）には乗らない！！

■ 充排気バルブを踏み付けない！！